

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【地理的分野】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（教育出版） 発行者番号（ 17 ）	発行者（帝国書院） 発行者番号（ 46 ）
1 内 容	①「身近な地域の調査」の単元で、東京都に関する記述がない。 ②280 ページから 283 ページにかけての用語解説で、基礎的・基本的な知識を押さえられるよう配慮されている。 ③4 ページに教科書の使い方と学び方が示されており、課題解決的な学習ができるよう、5 つのミカタ（視点）が記載されている。	①「身近な地域の調査」の単元で、東京都に関する記述がない。 ②288 ページから 293 ページにかけての用語解説で、基礎的・基本的な知識を押さえられるよう配慮されている。 ③巻頭の 1 から 2 ページ、特設Ⅲページに教科書の使い方や本文ページの見方・使い方が記載されている。	①「身近な地域の調査」の単元で、東京都練馬区大泉地域を事例にした記述がある。 ②巻頭 6 ページの二次元コードのコンテンツを活用して、基礎的・基本的な知識を押さえられるよう配慮されている。 ③巻頭 5 ページから 10 ページにかけて、教科書を活用した学び方や地理的な見方・考え方、同社発行の地図帳の活用方法が記載されている。
2 構成・分量	①287 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「学習課題」、「本文」、「トライ」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。また「見方・考え方を働かせて探究する課題」がそれぞれにある。 ④資料と文の割合は 6 対 4 である。	①297 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「学習課題」、「本文」、「確認」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。学習したことを「確認しよう」、「学習したことを振り返ろう」、「学習したことを活用してまとめよう」の構成である。 ④資料と文の割合は 7 対 3 である。	①298 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「問い」、「学習課題」、「本文」、「確認しよう・説明しよう」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「学んだことを確かめよう」、「学習内容を振り返ろう」、章、節、単元の問いについて「考えをまとめよう」の構成である。 ④資料と文の割合は 6 対 4 である。
3 表記・表現	①横書き。文章は敬体、平易で具体的な表現で記述。全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに全面対応。資料掲載部分に全面的に背景色を入れて本文部分との区別を明確にしている。資料に付した「図番号」を本文に付している。イラストを豊富に掲載。「世界の諸地域」では印象的な「一枚の写真」を採用し、地域の姿を映し出す「世界の窓」を掲載。世界や日本の各地の中学生が自分の暮らす地域を語るコラムを掲載。 ③小学校社会科で学習した用語が「小学校の社会で習ったことば」として各章の冒頭に掲載されている。ふりがなは教育漢字外の漢字、歴史用語、固有名詞に適宜付している。また、本文だけではなく資料ごとに付してある。	①横書き。文章は敬体、平易。文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、白抜き文字や色文字は十分な大きさを確保している。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。折り込みで衛星写真と、伊能忠敬の日本地図を掲載。各資料に、通し番号を付けるとともに、本文中に資料番号を掲載。本文に枠を付け、資料との区別を明確化している。 ③「小学社会 6」のキャラクターが中学生に成長した姿で紙面に登場している。第 5・6 学年の配当漢字にもふりがなが付されている。巻頭の「地理にアプローチ」には小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方、グラフの種類などを振り返る活動を位置付けている。	①横書き。文章は敬体文、平易な表現で具体的に記述。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。資料に付した「図番号」を本文に付している。図版に背景色や囲み線を付けるなどして、図版と本文を区別しやすくしている。「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の導入「写真で眺める」に大きく鮮やかな写真を掲載。また、「日本の諸地域」冒頭ではイラスト地図を掲載。 ③本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字、また固有名詞や地理用語には適宜ふりがなが付されている。本文ページ脚注欄に「小学校・歴史・公民・他教科との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容が確認できるよう、関連用語が提示されている。
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、大きい写真や資料などを使用している。また導入時で課題を提示し、展開、まとめを掲載している。 ②事例や体験では、各国の生活の様子を人物が紹介していたり、各国の文化をコラムとして記載したりしている。 ③二次元コードは思考ツールや各用語の説明、問題など多彩である。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、写真や資料などを使用している。 ②事例や体験では、各国の中学生が現地の様子を紹介している。 ③二次元コードは各サイトのリンクを収録している。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、大きい写真や資料などを使用している。また導入時では大観できる写真を掲載している。 ②事例や体験では、「未来に向けて」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ③二次元コードは各用語の説明、問題など多彩であり、GIS 教材を収録している。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【地理的分野】）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（ 116 ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	①「身近な地域の調査」の単元で、東京都に関する記述がない。 ②298 ページから 301 ページにかけての用語解説で、基礎的・基本的な知識を押さえられるよう配慮されている。 ③巻頭の 7 ページから 9 ページにかけて、教科書の構成と学び方が記載されている。		
2 構成・分量	①305 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「資料活用」、「学習課題」、「見方・考え方で着目する点を確認」、「本文」、「確認」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「知識の整理」、「考えをまとめる」、「学習の振り返り」の構成である。思考ツールを使い考えをまとめさせるようにしている。 ④資料と文の割合は 7 対 3 である。		
3 表記・表現	①横書き。文章は敬体、平易な文章で、具体的に記述。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。見開きの主となる資料に背景色を付けている。各章の大観ページに写真を掲載している。図版に番号を付し、本文にも関連する図版番号を付している。 ③小学校で未習の漢字や、固有名詞などは見開き 2 ページの初出にふりがなが付し、地名・人名など教育漢字読みまちがいのおそれのあるものには、教育漢字であってもふりがなを付している。また、「学習のはじめに」や本文、脚注の連携コーナーにおいて小学校社会科における地理的分野に関わる学習内容を再確認する構成になっている。		
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、大観ページ。導入ページ。本文ページ。振り返りページを用いている。 ②事例や体験では、「地理＋α」という項目を設け、各単元のコラムを提示している。 ③二次元コードはポートフォリオを収録している。		

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【歴史的分野】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（教育出版） 発行者番号（ 17 ）	発行者（帝国書院） 発行者番号（ 46 ）
1 内 容	①生徒の興味・関心を高められるよう、見開きの半分程度を写真などの資料が占めている。 ②見開きごとにある学習課題に対して、「チェック」や「トライ」という問いが設定されており、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③生徒の主体的な学習が促されるよう、「資料から発見！」などの特設ページが充実している。	①生徒の興味・関心を高められるよう、見開きの半分以上を写真などの資料が占めている。 ②見開きごとにある学習課題に対して、「確認」や「表現」という問いが設定されており、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「歴史の窓」や「歴史の技」などの学習コラムが充実しており、生徒の主体的な学習が促されるような配慮がされている。	①生徒の興味・関心を高められるよう、見開きの半分程度を写真などの資料が占めている。 ②見開きごとにある学習課題に対して、「確認しよう」や「説明しよう」という問いが設定されており、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③特設ページやコラム、二次元コードコンテンツが充実しており、生徒の主体的な学習が促されるような配慮がされている。
2 構成・分量	①287 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「導入資料」、「本文」、「チェック＆トライ」という構成になっている。 ③章の初めに年代を確認した上で「探究する問い」を確認している。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。語句等の確認をし、「深めよう」でまとめ、「探究課題」で解決するという構成である。思考ツールを使い、考えをまとめさせるようにしている。 ⑤近代現代は 144 ページからである。 ⑥資料と文の割合は 6 対 4 である。	①298 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「導入資料」、「本文」、「確認と表現」という構成になっている。 ③単元や章の初めで「とびら/導入」、「本文/特設ページ」、まとめや振り返りとして「学習のまとめと表現」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。 ⑤近代現代は 144 ページからである。 ⑥資料と文の割合は 6 対 4 である。	①314 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認しよう・説明しよう」という構成になっている。 ③章の初めに単元を見通し、問いを確認し、単元の振り返りで学習内容を整理する構成になっている。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。問いを確認し、学習事項の確認として知識・技能を、章の振り返りでは思考・判断・表現を目的とした活動の設定がある。また思考ツールを使っている。 ⑤近代現代は 161 ページからである。 ⑥資料と文の割合は 6 対 4 である。
3 表記・表現	①横書き。文章は敬体、平易で具体的な表現で記述。全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに全面対応。資料掲載部分に全面的に背景色を入れて本文部分との区別を明確にしている。資料に付した「図番号」を本文に付している。各章の冒頭に時代を表すイラストとキャラクター年表を掲載。1 時間の課題となる資料を見開き左上に大きく掲載している。巻末の折り込み歴史年表は、表裏で全時代を掲載している。 ③小学校社会科で学習した用語が「小学校の社会で習ったことば」として各章の冒頭に掲載されている。小学校社会科の教科書に掲載されている資料には「小学校マーク」が付されている。ふりがなは教育漢字外の漢字、歴史用語、固有名詞に適宜付されている。	①横書き。文章は敬体、平易。文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、白抜き文字や色文字は十分な大きさを確保している。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。本次ページの各資料に、通し番号を付けるとともに、本文中に資料番号を掲載。本文に枠を付け、資料との区別を明確化している。各章の冒頭に年表、関連地図を掲載。巻末の歴史年表は全時代を一覧できる両開きの折り込みページで構成。 ③「小学社会 6」のキャラクターが中学生に成長した姿で紙面に登場している。また、「小学社会 6」に登場した歴史上の人物はマークで識別できるようしてある。第 5・6 学年の配当漢字にもふりがなが付されている。	①横書き。文章は敬体文、平易な表現で具体的に記述。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。資料に付した「図番号」を本文に付している。図版に背景色や囲み線を付けるなどして、図版と本文を区別しやすくしている。各章の冒頭に、年表と各時代の社会の様子をイラストで概観させる「タイムトラベル」を見開きで掲載している。また、「世界とのつながりを考えよう」で、イラスト・世界地図を 6 テーマ掲載。巻末の折り込み歴史年表は 3 ページで全時代を掲載している。 ③本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字、また固有名詞や歴史用語には適宜ふりがなが付されている。章扉で小学校の学習内容を振り返るイラストを掲載。
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、様々な写真や資料などを使用している。また導入時で課題を提示し、展開、まとめを掲載している。 ②印刷製本では、年表でのインデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「もっと知りたい」という項目を設け、細かく掲載している。 ④二次元コードは思考ツールや各用語の説明、問題など多彩である。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、写真や資料などを使用している。 ②印刷製本では、インデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「歴史の窓」という項目で、当時の生活の様子などを紹介したりしている。 ④二次元コードは各サイトのクイズを収録している。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、単元の導入で時代の特色をつかめる見開きのイラストを使用している。 ②印刷製本では、年表でのインデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「未来に向けて」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ④二次元コードは各用語の説明、問題など多彩であり、イラスト集を収録している。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【歴史的分野】）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（山川出版） 発行者番号（ 81 ）	発行者（日本文教出版） 発行者番号（ 116 ）	発行者（自由社） 発行者番号（ 225 ）
1 内 容	①内容はかなり豊富で用語解説も詳しい。文章量がやや多い。 ②用語の解説や章のまとめページにおいて、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③地域からのアプローチや、「ステップアップ」の問いが盛り込まれており、主体的な学習が促されるよう配慮されている。	①導入資料と問いかけがあり、生徒の興味・関心を高められるような内容になっている。 ②見開きごとに「確認」、「表現」の問いが設定されており、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③チャレンジ歴史のページで時代をまとめられるような問いが設定され、「学び合い」の箇所では主体的な学習が促されるよう配慮されている。	①見開きごとに学習課題が設定されているが、やや文字が小さい。興味・関心を引くようなコラムが多い。 ②章のまとめには復習問題のページや時代の特徴を考えるページがあり、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「もっと知りたい」コラムや調べ学習のページがあり、主体的な学習が促されるよう配慮されている。
2 構成・分量	①288 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「考えて欲しい課題」を示し、「本文」、「ステップアップ」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。考える内容（知識・技能を問うもの）によって項目立てて文章を書いてまとめさせるようになっている。 ④近代現代は 156 ページからである。 ⑤資料と文の割合は 7 対 3 である。	①307 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「学習のはじめに」で問いを立てて学習を見通し、問いを探究するために「本文」を読み、まとめと振り返りを「確認や表現」で行うという構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。学習内容での事項の確認をして上で、問いの答えを考えさせる構成になっている。 ④近代現代は 154 ページからである。 ⑤資料と文の割合は 7 対 3 である。	①303 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②見開き 1 時間の紙面が「学習の問い」、「本文」、「チャレンジ」という構成になっている。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。復習問題のページで知識を確認し、時代の特徴で考えるページでそれぞれの問いに答える構成になっている。付随する解答欄はない。 ④近代現代は 149 ページからである。 ⑤資料と文の割合は 6 対 4 である。
3 表記・表現	①横書き。文章は常体。大きさはやや小さめ。文字は本文にユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。図版に番号を付し、本文にも関連する図版番号を付している。各章の冒頭に、見開きで世界史との関連年表と関連資料を掲載。折り込みによる年表一覧は付いていない。 ③巻頭に小学校で学習した人物を手がかりに、時代の区分を学ぶコーナーを掲載。難解な漢字、固有名詞・歴史用語にふりがなを付している。	①横書き。文章は敬体、平易な文章で、具体的に記述。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。見開きの主となる資料に背景色を付けている。図版に番号を付し、本文にも関連する図版番号を付している。各章の冒頭に、世界史との関連年表と関連地図を掲載。巻末の折り込み歴史年表は複数ページで全時代を掲載している。 ③小学校で未習の漢字や、固有名詞などは見開き 2 ページの初出にふりがなを付し、読み間違えやすい地名・人名などには、教育漢字であってもふりがなを付している。第 1 編や各時代の導入の年表、本ページ脚注の連携コーナーにおいて、小学校で学んだ人物・文化遺産などを再確認できるよう構成されている。	①横書き。文章は敬体、平易。 ②資料はカラー刷り。1 時間の課題となる資料を見開き左上に掲載している。各章の冒頭は 1 ページで、関連資料を掲載。 ③ふりがなは重要語句や教育外漢字に適宜付している。各章の冒頭に小学校で学んだ人物を中心に登場人物紹介コーナーを掲載。
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる資料や写真が多く、高等学校でも使用する史料（資料）を掲載している。 ②印刷製本では、文字のフォントサイズは他社に比べると小さめである。ユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「地域からのアプローチ」や「歴史を考えよう」などがある。 ④二次元コードは拡大した資料を見ることができる。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、導入ページ。本文ページ。振り返りページを用いている。 ②印刷製本では、年表でのインデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「スキル Up」という項目を設け、各単元のコラムを提示している。また二次元コードで読み込むこともできる場合もある。 ④二次元コードはポートフォリオを収録している。	①学習活動を展開しやすくなる資料や写真、コラムなどを使用している。 ②印刷製本については特記事項なし。 ③事例や体験では、「調べ学習」という形で写真や資料から疑問を提示している。 ④二次元コードは取り扱っていない。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【歴史的分野】）

No. 3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（育鵬社） 発行者番号（ 227 ）	発行者（学び舎） 発行者番号（ 229 ）	発行者（令和書籍） 発行者番号（ 236 ）
1 内 容	①各章で学習する時代を象徴する資料は大きく取り上げられ、生徒の興味・関心を高められるような内容になっている。 ②「学習のまとめ」で基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③本文ページ以外に「地域の歴史を調べてみよう」や「歴史ズームイン」といった特設ページが設けられ、主体的な学習を促す配慮がされている。	①タイトルが学習課題になっており、生徒の興味を引くものになっている。 ②本文中に太文字の語句等はない。章のまとめページにおいて、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「フォーカス」や章の振り返りがあり、見開きで1授業の構成になっている。	①資料に対して文章の割合が多い。 ②本文中に太文字の語句等を示し、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「考えよう」や「課題」として問いを示し、解説・説明を読み進める構成になっている。
2 構成・分量	①292 ページあり、見開き2 ページで1 単位時間の内容となっている。 ②見開き1 時間の紙面が「課題をつかむ」、「本文」で課題について調べる、振り返りで「課題についてまとめる・表現する」という構成である。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。学習内容の事項を確認したうえで、思考力・判断力・表現力を問う課題に取り組む構成である。 ④近代現代は146 ページからである。 ⑤資料と文の割合は6 対4 である。	①299 ページあり、見開き2 ページで1 単位時間の内容となっている。 ②見開き1 時間の紙面が「タイトルや学習課題」、「本文」という構成である。 ③単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。学習内容の事項を確認、学習のまとめという構成である。グループ等で行う活動や体験活動を行う内容もある。 ④近代現代は136 ページからである。 ⑤資料と文の割合は6 対4 である。	①463 ページであり、見開き2 ページで1 単位時間とはなっていない。 ②原始、古代、中世というような大まかな時代のまとまりを、イ、ロ、ハ、ニ…で分けしている。 ③単元や章にねらい等の記載はない。単元や章を振り返るページもない。 ④近現代は269 ページからである。 ⑤資料と文の割合は2 対8 である。
3 表記・表現	①横書き。文章は敬体文、平易。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。各章の冒頭に、見開きで時代の流れを示した歴史絵巻を掲載。また、見開きでその時代の人々の生活や町の様子などを示す資料を掲載。 ③教育外漢字や固有名詞等、適宜ふりがなを付している。小学校の歴史学習において学んだ42 人の歴史上の人物について振り返り、興味・関心のある人物についてまとめる活動が掲載されている。	①横書き。文章は敬体。太字はない。見開きのタイトルはポイントを絞った内容を大きく表示。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。図版番号は付しているが、本文中には付していない。章の冒頭に世界史との関連地図と資料を見開きで掲載。巻末頁に年表を掲載。 ③学年に応じた漢字、ふりがなを使用。	①縦書き。文章は敬体。語句の説明が本文内で括弧書きされている。 ②本文中の資料は白黒刷り。各章の冒頭にイラストと年表を掲載。巻末に関連地図、文化財等をカラーで掲載。資料の挿入箇所には一定の決まりはなく、必要な箇所に随時掲載されている。年表一覧はない。 ③難解な漢字、歴史用語には適宜ふりがなを付している。巻頭に小学校で学んだ人物と文化が記載されている。
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として小学校で復習したことを振り返りながら大観し、資料などで細かく見ることができる。 ②印刷製本では、ユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「歴史ズームイン」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ④二次元コードは取り扱っていない。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、太字をなくしたり、当時の様子を教科書の導入に入れたりしている。 ②印刷製本では、比較的、大きめの教科書である。また、ユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、当時の様子の文章や資料などがある。 ④二次元コードは取り扱っていない。	①学習活動の展開として、写真や資料が白黒であり、数も少ない。 ②印刷製本では、ページ数が463 ページあり、文章は縦書きである。 ③事例や体験という項目はない。 ④二次元コードは取り扱っていない。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【公民的分野】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（教育出版） 発行者番号（ 17 ）	発行者（帝国書院） 発行者番号（ 46 ）
1 内 容	①「もっと知りたい！」や「未来にアクセス」のコラムがあり、生徒の興味・関心が高まるような工夫がされている。 ②「スキル・アップ」のコーナーやデジタルコンテンツの用語解説において、基礎的・基本形な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「みんなでチャレンジ」や「もっと知りたい！」のコラム・コーナーで、主体的・対話的な学びから深い学びにつなげられるよう配慮がされている。	①「公民の窓」の学習コラムがあり、生徒の興味・関心が高まるような工夫がされている。 ②見開きごとに「確認」「表現」のコーナーがある。また、巻末の用語解説や側注解説で基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「公民の技」やまなびリンクを通して、主体的な学習が促されるよう配慮されている。	①特設ページやコラムが豊富に用意され、生徒の興味・関心が高まるような工夫がされている。（巻頭6ページ参照） ②見開きごとに「確認しよう」「説明しよう」のコーナーがある。また、側注解説があり、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「アクティブ公民」や「未来に向けて」などのコラムや思考ツールの活用方法、二次元コードコンテンツを通して、主体的な学習が促されるよう配慮されている。
2 構成・分量	①239ページあり、見開き2ページで1単位時間の内容となっている。 ②「現代社会と私たち」がP6～36、「個人の尊重と日本国憲法」がP37～76、「現代の民主政治と社会」がP77～P128、「私たちの暮らしと経済」がP129～180、「地球社会と私たち」がP181～215という構成である。 ③見開き1時間の紙面が「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「チェック＆トライ」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「課題をつかむ」、「課題を探究する」、「課題を解答する」という構成である。	①264ページあり、見開き2ページで1単位時間の内容となっている。 ②「私たちの暮らしと現代社会」がP13～38、「個人を尊重する日本国憲法」がP39～82、「私たちの暮らしと民主政治」がP83～P128、「私たちの暮らしと経済」がP129～168、「安心して豊かに暮らせる社会」がP169～192、「国際社会に生きる私たち」がP193～228という構成である。 ③見開き1時間の紙面が「導入資料」、「中心資料」、「学習課題」、「本文」、「確認と表現」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「学習のはじめに」で学習の流れ等を把握し、「学習のまとめと表現」で学習のまとめや振り返りを行う構成となっている。	①250ページあり、見開き2ページで1単位時間の内容となっている。 ②「現代社会」がP1～28、「政治」がP29～114、「経済」がP115～P180、「国際」がP181～214という構成である。 ③見開き1時間の紙面が「導入資料」、「学習課題」、「本文資料」、「確認しよう・説明しよう」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「単元の見通し」が初めにあり、「学習を振り返ろう」で学習のまとめや振り返りを行う構成となっている。
3 表記・表現	①横書き。文章は敬体、平易で具体的な表現で記述。全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに全面対応。資料掲載部分に背景色を入れて本文部分との区別を明確にしている。資料に付した「図番号」を本文に付している。1時間の課題を把握するきっかけとなる資料を見開き左上に大きく掲載している。各章の冒頭でまんがやイラストを見開きで掲載。 ③小学校社会科で学習した用語が「小学校の社会で習ったことば」として各章の冒頭に掲載されている。地理・歴史の教科書に掲載した資料にマークが付されている。ふりがなは教育漢字外の漢字、歴史用語、固有名詞に適宜付されている。	①横書き。文章は敬体、平易。文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、白抜き文字や色文字は十分な大きさを確保している。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。折り込みで日本地図を掲載。各資料に、通し番号を付けるとともに、本文中に資料番号を掲載。本文に枠を付け、資料との区別を明確化している。1時間の課題となる資料を見開き左上に掲載している。各章の冒頭に関連資料を掲載。 ③「小学社会」のキャラクターが中学生に成長した姿で紙面に登場している。また、巻頭の「公民にアプローチ」では小5の「情報」単元での学習を振り返りながら公民の学習につなげる工夫がされている。地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語などには、見開きごとにふりがなが付されている。	①横書き。文章は敬体、平易な表現で具体的に記述。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。図版に背景色や囲み線を付けるなどして、図版と本文を区別しやすくしている。資料に付した「図番号」を本文に付している。1時間の課題となる資料を見開き左上に大きく掲載している。部や章の導入として「学習の前に」が見開きで設けられ、学習内容を見通すためのイラストが掲載されている。 ③本文の下段ページに「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーが設けられ、小学校で学習した内容を確認できるよう、関連用語が提示されている。ふりがなは重要語句に適宜付している。
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、大きな写真や資料などを使用している。また導入時で課題を提示し、展開、まとめを掲載している。 ②印刷製本では、インデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、見開きのイラストで実生活の課題を探究する項目を掲載している。 ④二次元コードは思考ツールや各用語の説明、問題など多彩である。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、写真や資料などを使用している。 ②印刷製本では、インデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「公民の窓」という項目で現代社会の課題を紹介している。 ④二次元コードは各サイトのクイズを収録している。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として大きい写真を使用している。また導入時では実社会のイラストを掲載している。 ②印刷製本では、インデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、「未来に向けて」という項目を設け、各単元の課題を提示している。 ④二次元コードは各用語の説明、問題など多彩であり、法令集を収録している。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【公民的分野】）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（ 116 ）	発行者（自由社） 発行者番号（ 225 ）	発行者（育鵬社） 発行者番号（ 227 ）
1 内 容	①教科書の二次元コードコンテンツや公民+@のコラムを通して、興味・関心が高められるような内容が書かれている。 ②本文外に補足で解説が加えられている。見開きごとに「確認」「表現」のコーナーがあり、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「アクティビティ」で生徒が主体的に考えられるような配慮がされている。	①「もっと知りたい」や「ミニ知識」で興味・関心が高められるような内容が書かれている。 ②本文外に補足で解説が加えられており、基礎的・基本的な内容を押さえられるよう配慮されている。 ③「アクティブに深めよう」や「課題の探究」の項目が設定されている。	①「学習を深めよう」の小コラムで興味・関心が高められるような内容が書かれている。 ②欄外の補足説明がある。248 ページから 253 ページにかけて用語解説が設けられている。 ③「学習を深めよう」やまとめのページが設定されている。
2 構成・分量	①265 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②「私たちと現代社会」が P6～37、「私たちの生活と政治」が P38～127、「私たちの生活と経済」が P128～P187、「私たちと国際社会」が P188～221 という構成である。 ③見開き 1 時間の紙面が「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認・表現」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。問いを立て学習を見通すために「学習のはじめに」があり、問いを追求するために「本文ページ」があり、「まとめ・振り返り」のページがそれぞれある。	①259 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②「現代日本の自画像」が P1～22、「個人と社会生活」が P23～42、「立憲国家と日本」が P43～64、「日本国憲法と立憲的民主政治」が P65～120、「国民生活と経済」が P121～P164、「国際社会に生きる日本」が P165～206、「持続可能な社会を目指して」が P207～213 という構成である。 ③見開き 1 時間の紙面で「問い」、「本文・資料」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。単元の終わりに、「学習のまとめと発展」がある。	①256 ページあり、見開き 2 ページで 1 単位時間の内容となっている。 ②「私たちの生活と現代社会」が P9～36、「私たちの生活と政治-日本国憲法の基本原則-」が P37～76、「私たちの生活と政治-民主政治と政治参加-」が P77～P116、「私たちの生活と経済」が P117～170、「私たちと国際社会の課題」が 171～206 という構成である。 ③見開き 1 時間の紙面が「導入資料」とそれに対する問い、「学習課題」、「本文」、「確認と探究」という構成である。 ④単元や章ごとに学習の内容を振り返るページがある。「章の導入」、本文のページで課題について調べ、まとめとして「章の終結」がある。
3 表記・表現	①横書き。文章は敬体。ユニバーサルデザインフォントを使用。ふりがなはゴシック体を使用。本文は平易な文章で、具体的に記述。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。図版に番号を付し、本文にも関連する図版番号を付している。1 時間の課題となる資料を見開き左上に大きく掲載している。各章の冒頭に、章の学習内容と生徒の生活を結ぶまんがを見開きで掲載。 ③小学校で未習の漢字や、固有名詞などは見開き 2 ページの初出にふりがなを付し、読み間違いやすい人名等には、教育漢字であってもふりがなを付している。「学習のはじめに」や本文、脚注の連携コーナーにおいて小学校社会科における地理的分野に関わる学習内容を再確認する構成になっている。	①横書き。文章は敬体、平易。 ②資料はカラー刷り。1 時間の課題となる資料を見開き左上に掲載している。コラムに背景色を付け、本文との区別を付けている。資料番号は付していない。各章の冒頭は 1 ページで文章による問いかけのみで、資料は付していない。 ③ふりがなは重要語句や教育外漢字に適宜付している。	①横書き。文章は敬体文、平易。文字はユニバーサルデザインフォントを使用。 ②掲載資料はカラー刷り。カラーユニバーサルデザインに基づいている。資料番号を本文中に付している。1 時間の課題となる資料を見開き左上に大きく掲載している。各章の冒頭は 1 ページで関連資料を掲載。 ③教育外漢字や固有名詞等、適宜ふりがなを付している。ふりがなはゴシック体。小学校社会科で学習した関連内容については各章扉で、地理的・歴史的分野で学習した関連内容は該当する見開きで紹介する構成になっている。
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、導入ページ。本文ページ。振り返りページを用いている。 ②印刷製本では、インデックスを各ページに設定している。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、イラスト教材を用いて、身近な事例が考察できるようにしている。 ④二次元コードは導入時のオリジナル動画を収録している。	①学習活動を展開しやすくなる資料や写真、コラムなどを使用している。 ②印刷製本については特記事項なし。 ③事例や体験では、「アクティブに深めよう」という形で問いを提示している。 ④二次元コードは取り扱っていない。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として各単元に「入り口」を設け、学ぶ理由を解説している。 ②印刷製本では、ユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、各単元の「入り口」テーマについて話し合い学習が用意されている。 ④二次元コードはNHK for School のサイトに移動する。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【地図】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（帝国書院） 発行者番号（ 46 ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	①資料や写真が見開きで最大で11あり、生徒の興味・関心を高められるような構成になっている。また、適切な箇所にはふりがなが付されており、発達段階にも配慮されている。 ②5ページに基本的な地図帳の活用方法が書かれている。 ③生徒が主体的に学習できるよう、「Bee’s eye」の問いが105か所設けられている。	①資料や写真が見開きで最大12あり、生徒の興味・関心を高められるような構成になっている。また、適切な箇所にはふりがなが付されており、発達段階にも配慮されている。 ②5ページから8ページにかけて、基本的な地図の見方を学習することができる内容が書かれている。 ③生徒が主体的に学習できるよう、「地図で発見！」の問いが148か所設けられている。	
2 構成・分量	①176ページあり、世界は州ごと、日本は地方ごとに分けられている。 ②巻末「資料索引」では、国名、世界文化遺産、油田、都道府県名、歴史地名など、それぞれの事項によって色分けされている。 ③日本列島の一般図等は巻末にある。また周辺の様子において、日本の領域について、竹島、尖閣諸島等の写真資料と説明がある。	①198ページあり、世界は州ごと、日本は地方ごとに分けられている。 ②巻末「資料索引」では、国名、都道府県名など、それぞれの事項によって色分けされている。 ③日本列島の一般図等は巻末にある。また周辺の様子において、日本の領域について、東西南北端の写真資料がある。	
3 表記・表現	①文字にユニバーサルデザインフォントを使用。 ②カラーユニバーサルデザインに全対応。鳥瞰図を掲載。SDGsゴールの一覧を掲載し、該当する資料にSDGsマークを付けている。環境問題や防災、文化、平和などの諸課題に関わる資料を掲載。歴史的分野・公民的分野と関連する資料にはそれぞれのマークを付けている。 ③日本の一般図の地名などには原則ふりがなを付してある。巻頭に世界の国や首都を示した世界全図、巻末に日本の都道府県と都道府県庁所在地を示した日本全図を掲載し、小学校の学習を振り返られる構成となっている。歴史的分野・公民的分野と関連する。	①文字にユニバーサルデザインフォント（丸ゴシック系）を使用。重要な国名や主要都市名など、地名に白色系の縁取りを付けている。 ②イラストを挿入した鳥瞰図を掲載。SDGsゴールの一覧を掲載し、該当する資料にSDGsマークを付けている。資料図は縮尺を統一。人権学習に資する資料が掲載されている。歴史的分野・公民的分野と関連する資料にはそれぞれのマークを付けている。 ③地図中の地名の漢字には全てふりがなを付している。学習上重要な「国名」「首都名」には欧文が併記されている。学習上重要な地名は大きく太い字で記されている。日本の一般図の記載要素のうち、産物や環境に関するものは絵記号が用いられている。	
4 使用上の便宜	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、各テーマに対応している地図を用いている。 ②印刷製本では、ユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、地域の食文化の写真などが掲載している。 ④二次元コードは解答例を収録している。	①学習活動を展開しやすくなる工夫として、歴史や公民・修学旅行などにも活用できるように作成している。 ②印刷製本では、様々なイラストを掲載し、紙面も大きい。またユニバーサルデザインにも配慮している。 ③事例や体験では、SDGsに対応した資料を掲載している。 ④二次元コードは小学校の振り返りを収録している。	